

三瀬中学校(楠瀬地区)の有効利用 質問Ⅱ公募への経過と今後の進め方は 答弁Ⅱ年内をめどに選定したい



浜田 孝男 議員

平成31年4月1日、町ホームページと広報で「三瀬中学校の活用事業者を募集」と掲載されていた。どのような経過で公募となったか。

藤岡教育長

地域の思いを最優先と考え、平成30年12月に三瀬地区で説明会を開催。地区内で活用する計画や希望がないか意見集約を実施。結果、希望がなかったのが公募に至った。

浜田議員

公募の受付期間は、令和元年7月31日までだが、そ

の後はどうに進むか。

藤岡教育長

現在、2件の問い合わせがある。応募した事業者から地区に説明を行い、町は地区の意見を聞きながら年内をめどに事業者を選定したい。

なお、グラウンドは現在、高知県中央西土木事務所に残土の仮置き場として令和元年9月30日まで貸しているが、10月以降は原状回復したうえで返還予定。

浜田議員

公募方式は例がない。事業者の選定は、町が関係者の意見を聞いて判断するか。

危機管理型水位計の設置

質問Ⅱ状況と活用さらに増設を
答弁Ⅱ15か所設置 避難判断などに活用

浜田議員

県内の県管理河川94河川と国管理の物部川・仁淀川・



活用事業者を募集中の「三瀬中学校」

藤岡教育長

三瀬中学校は三瀬地区全体の財産だが、施設は楠瀬地区に存在している。

密接な関わりは楠瀬地区なので、地区の意見を尊重する。

そして、最終的には三瀬地区全体において、受け入れに理解を得るように努める。

新たな水位計の設置状況は。また、今後どのように活用していくか。

池田町長

仁淀川8か所(1か所は設置予定)・宇治川(4か所)・上八川川(高岩)・小野川(神谷)・奥谷川(加田)・

是友・奥名地区を防災拠点の二つに

質問Ⅱ防災備蓄倉庫残地の活用は
答弁Ⅱ防災力向上を念頭に地区と協議

浜田議員

是友・奥名地区に、町で初めて1階が防災備蓄倉庫、2階がトイレ・炊事場を設けた防災研修室を配置した多機能型防災備蓄倉庫が建設される。

ここを防災の拠点の一つとして位置付けし、活用しないか。

土居総務課長

多機能型防災備蓄倉庫建築・舗装工事後に残地約1080㎡が残る。

この土地は、敷地の形状や周辺道路への利便性が良いので、防災備蓄倉庫の機能を最大限に活用でき、地

谷川(谷)に設置。

多くの地点の水位把握が可能となり、避難勧告などの発令地域やタイミングの判断の目安、周辺住民の避難判断などに生かす。

今後も、水位観測が必要な箇所への設置を要望していく。

域においても防災力の向上につながる施設整備を念頭に、是友・奥名地区とも協議を重ねる。



多機能型防災備蓄倉庫予定地(是友地区)